
JSTQB認定テスト技術者資格 Advanced Level 試験について

Japan Software Testing Qualifications Board

アジェンダ

- はじめに
- Advanced Levelについて
- トライアル試験について
- FAQ
- 質疑応答
- 資料(テストマネージャのための学習の目的)

はじめに

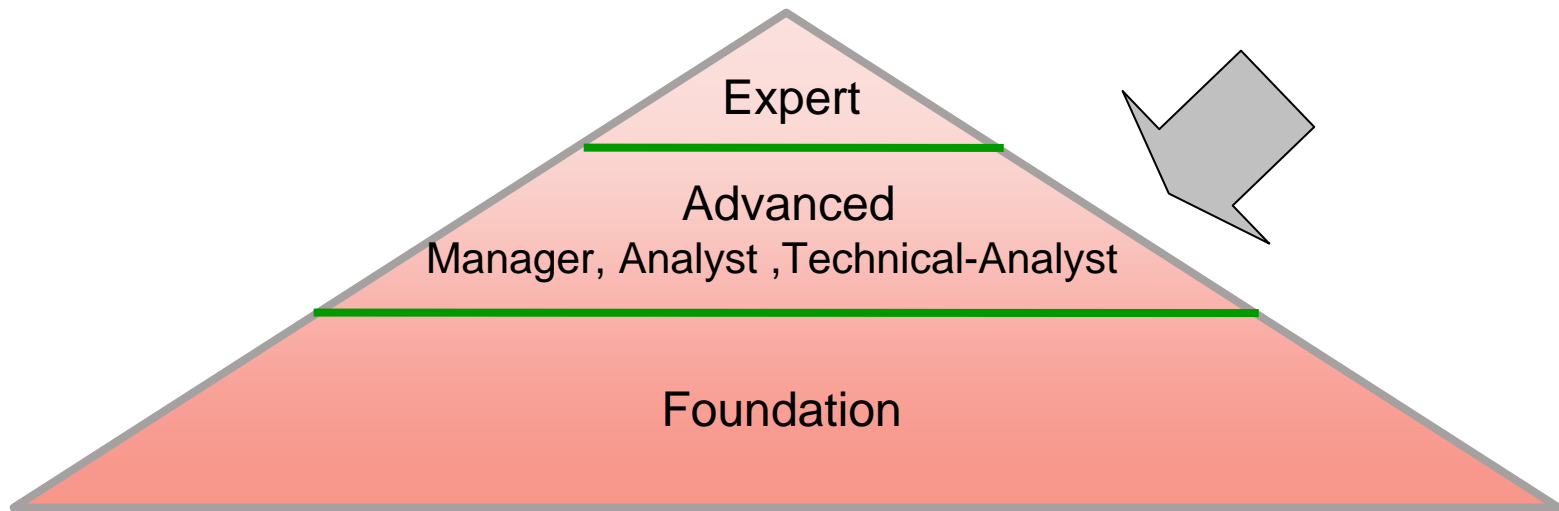
はじめに

- 本資料は2010年5月27日(木)に実施した、JSTQB認定テスト技術者資格 Advanced Level 試験 説明会に使用した資料です。
- ただし、説明会后、ISTQBの試験規程が改定されたため、試験時間については最新のものを掲載しています。
(説明時:120分 → 本説明書:180分)
- 当日質疑応答で行われた内容もFAQに含めて記載しています。
- 本説明会は試験実施に関する説明を目的としており、シラバスに記載されている学習内容の詳細説明を行ったものではありません。

Advanced Levelについて

位置づけ

- ISTQBソフトウェア資格認定制度では、スキルレベルを三段階に分けています。



対象者

- Advanced Levelの資格は、ソフトウェアのテストの分野で高度なレベルに到達している人を対象としています。
- この資格が想定している対象者には、次のような人々を含みます。
 - テスト担当者
 - テストアナリスト
 - テストエンジニア
 - テストコンサルタント
 - テストマネージャ
 - ユーザ受け入れテスト担当者
 - ソフトウェア開発者

資格種別

- Advanced Level認定は、主要な3つの資格種別において、組織内における代表的な基本的責務と期待されることについて試験します。
- Advanced Levelの資格種別は次の3つがあります。
 - Advanced Level テストマネージャ
 - Advanced Level テストアナリスト
 - Advanced Level テクニカルテストアナリスト
- 次に、それぞれの資格種別の責務について説明します。

資格種別

- Advanced Level テストマネージャ
 - 対象システムに対する包括的なテストのゴールおよびテスト戦略を定義する。
 - 計画、スケジュールの立案とその追跡を行う。
 - 必要となる活動を体系化し説明する。
 - タスクに適したリソースを選択、調達し、割り当てる。
 - テストチームの選択、編成、指導を行う。
 - テストチームのメンバー間、テストチームと他のステークホルダ (利害関係者) とのコミュニケーションを体系化する。
 - 妥当な状況判断をすると共に、適切な情報提供を行う。

資格種別

■ Advanced Level テストアナリスト

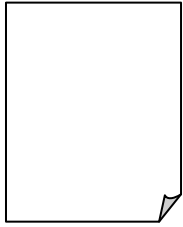
- ビジネスドメインの要件の視点から、テスト戦略で定義に沿うように複数のタスクを組み立てていく。
- 品質に対するユーザの期待に応えられるよう、システムを詳細に分析する。
- システム要件がドメインにとって妥当かどうかを評価する。
- 適切な活動を準備して実行し、その進捗状況についてレポートする。
- 評価結果を保証するために必要な証拠を提供する。
- 定義されているゴールを達成する上で必要なツールと技法とを実装する。

資格種別

■ Advanced Level テクニカルテストアナリスト

- 技術的な要件の視点から、テスト戦略で定義に沿うように複数のタスクを組み立てていく。
- 期待されている品質レベルを実現できるよう、システムの内部構造を詳細に分析する。
- 性能、セキュリティなど、技術的な品質特性の面でシステムを評価する。
- 適切な活動を準備して実行し、その進捗状況についてレポートする。
- 技術的なテスト活動を指導する。
- 評価結果を保証するために必要な証拠を提供する。
- 定義されているゴールを達成する上で必要なツールと技法とを実装する。

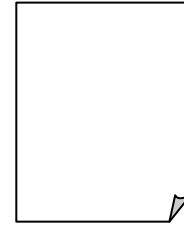
資格種別とシラバスについて



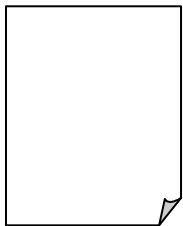
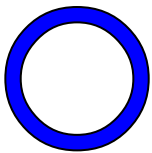
テストマネージャ用
シラバス



テストアナリスト用
シラバス



テクニカルテストアナリスト用
シラバス



Advanced Level
シラバス

Advanced Level には3種類の
資格種別があります。

しかし、シラバスは一つです。

テストマネージャの学習時間の割合

以下の学習時間は、K2、K3、K4レベルの学習を対象に記載しています。

第1章: ソフトウェアテストの基本概念	150分	7%
第2章: テストプロセス	120分	6%
第3章: テストのマネジメント	1120分	55%
第4章: テスト技法	0分	0%
第5章: ソフトウェア特性のテスト	0分	0%
第6章: レビュー	120分	6%
第7章: インシデント管理	80分	4%
第8章: 標準およびテスト改善プロセス	120分	6%
第9章: テストツールおよび自動化	90分	4%
第10章: スタッフのスキル - チーム構成	240分	12%
合計	2040分	100%

資格種別ごとに各章の重みが異なります。
K1レベルは全ての章が対象になります。

知識のレベル

- Advanced Level では、K4レベルを導入します。
- K1～K4レベルについて、次に説明します。

知識のレベル

■ K1 (記憶レベル)

- 用語または概念を認識し、記憶して、想起することができる。

■ K2 (理解レベル)

- 課題に関連する記述について理由または説明を選択することができる。
- テスト概念、テスト手順(タスクの順番の説明)に関して要約、区別、分類することができる。
- 事実を示す例を挙げる (例えば用語を比較する) ことができる。

■ K3 (適用レベル)

- 概念または技法を正しく選択することができる。
- 技法を特定の事例に適用することができる。

知識のレベル

■ K4 (分析レベル)

- 手順または技術に関連する情報を分類し、理解しやすくするため各部分に分割し構成することができる。
- 同時に事実と推論を区別することができる。
- 典型的な適用例として、問題を解決するためやタスクを実行するために、文書、ソフトウェア、プロジェクトの状態を分析し、適した活動を提案できる。

試験範囲

- ALシラバス＋FLシラバス※1
 - FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成します。
 - そのため、FLシラバスに書かれている概念や技法を用いる問題が、出題される可能性があります。
- ALシラバスには、資格種別ごとに学習の目的が載っています。
 - シラバスのリストには、K2、K3、K4レベルの学習の目的のみを記載していますが、本シラバスのすべての箇所が、K1レベル、すなわち用語や概念についての知識として試験対象となります。

※1:

AL: Advanced Level

FL: Foundation Level

トライアル試験について

トライアル試験の目的

- 試験運営に関するノウハウを習得するため
 - Advanced Level から「業務経験の証明」が必要になります。
 - そのため、申込時に多少の混乱が生じると想定しております。
 - トライアルを行うことで、試験運営のノウハウを得ようと考えています。
- トライアル試験ですが、本試験と同等の資格を得られます。

トライアル試験 実施要項

- 資格種別 : テストマネージャ
- 日時 : 2010年8月28日(土) 10:30~13:30
- 開催地域 : 東京
- 試験料 : 21,000円(税込)
- 受験資格 : 次の1と2の条件をすべて満たす者とする。
 - 1. JSTQB認定テスト技術者資格 Foundation Level資格の合格者
 - 2. 業務経験三年以上(経歴書の提出あり)
- 申込開始 : 2010年6月中旬
- 定員 : 200名(予定)
- 主催 : NPO法人ソフトウェアテスト技術振興協会
日本ソフトウェアテスト資格認定委員会
- 試験実施 : 財団法人日本科学技術連盟

トライアル試験 実施要項

- 試験時間 : 180分
 - 説明会的时候は120分と説明していましたが、ISTQBの試験規程の変更に対応するために、180分としました。
- 試験形式 : 複数の選択肢から正解を選ぶ形式
- 問題数 : 65問
- 合格ライン : 非公開

FAQ

トライアル試験

- トライアル試験は本試験と何か異なりますか？
 - 本試験と同レベルの試験を実施します。
 - 得られる資格は本試験と同等です。
- トライアル試験は申込者全員が受けられますか？
 - トライアル試験のため、定員を設けております。
 - 受験を希望されても定員を超えた場合、お断りすることがあります。
- トライアルを申し込んだ後でのキャンセルは可能ですか？
 - 申し込み後はキャンセルできません。

トライアル試験

- トライアル試験に定員があるとのことですが、どのような基準で受験可否を判断するのですか？
 - 先着順になります。
- 定員は何名ですか？
 - 200名を予定しています。
- 他国でFLを合格しています。 JSTQBのトライアル試験でも受験できますか？
 - 本試験では可能ですが、トライアル試験では、JSTQBで合格した方がのみが対象です。

受験資格

- 「業務経験三年以上」の業務経験はテストマネージャの経験ですか？
- テストマネージャの経験は無いのですが、受験資格を満たしていますか？
- テストエンジニアとしての経験は無いのですが、AL試験を受験できるのですか？
 - 「業務経験三年」とは、
下記の業務のうち、一つ以上の業務に従事した経験が通算三年以上であるということの意味します。
 - ソフトウェアテストに関する業務
 - ソフトウェア開発に関する業務
 - ソフトウェア開発のプロセス改善を含む品質保証に関する業務
 - ソフトウェアの研究開発(R&D)に関する業務

※ソフトウェアの開発・研究に従事した経験のない方は受験資格を有しません。

受験資格

- ソフトウェア開発に関する業務と書かれていますが、どのような業務でも構わないのですか？
 - ソフトウェア開発に関係する業務であれば、どのような業務でも構いません。
- 経験三年をどのように判断しますか？
 - 経歴書の内容で判断します。
 - 個別に経歴の確認をさせていただくこともあります。
- 業務経験の証明は、勤務先(派遣先)に確認するのですか？
 - 経歴書に書かれているご連絡先に対して確認することもあります。

受験資格

- 個人情報である経歴書を出さない方法がありますか？
 - 受験要件を満たすことの判断に必須となりますので、JSTQBIにて受験をする場合、例外なくご提出ください。
 - 個人情報については、適法に管理しております。
- 経歴書はどのようなフォーマットでもよいのですか？
 - 募集サイトに記述フォーマットをアップします。

受験資格

- FL合格の有無はどのように判断しますか？
 - FL合格時の認定書の写しを確認することで判断します。
 - 受験申し込み書類に、認定書の写しの添付が必要です。
 - 認定書発行後に氏名が変わっている場合は、そのことを証明できる公的な書類の写しを添付してください。
- 認定書を無くしてしまいました。受験できなくなりますか？
 - 合格証明書の発行ができます。JSTQBへ合格証明書の発行を依頼してください。
- FLを受験しなくてもALを受験できますか？
 - FLの資格を取得していることがAL受験の条件となりますので、受験できません。

受験料

- 受験資格を判断する前に、受験料を払うのですか？
 - JSTQBで受験資格の有無を判断した後に、受験資格を有している受験者に受験料の支払いのご連絡をいたします。
- 受験資格があるかどうかの判断の回答はいつ頃になりますか？
 - 7月末頃に一斉に回答いたします。

ISTQB加盟団体との関係

- 他国でFLを合格しています。 JSTQBで受験できますか？
 - 本試験では可能ですが、トライアル試験では、JSTQBで合格した方のみを対象としています。
 - 本試験では他国で合格したことを示すことができる書類(認定書の写しや合格証明書)をお申し込み時に添付してください。
 - ただし、FLの認定国の団体にJSTQBから確認する必要があるため、状況によっては希望する回に受験できないおそれがあります。
- ISTQBに加盟している団体は同じ問題を使っているのですか？
 - 各団体毎に試験問題は異なります。
 - ただし、試験問題作成規程が厳密に決まっているため、難易度の相違はありません。

言語

- 日本語ではない言語で受験をしたいのですが、どうすればよいですか？
 - JSTQBの公用語は日本語です。
 - 他言語での受験を希望する方は、ISTQBに加盟する他国／地域の団体で受験してください。
 - なお、他の団体で受験される場合には、その団体の受験要件を満たしている必要があります。
- 日本語辞書の持ち込みは可能ですか？
 - 辞書の持込みはできません。

学習

- 教科書が無いのにどうやって勉強すればよいですか？
 - シラバスをベースに、シラバスに記載のある参考・引用書籍もご活用ください。
- 教科書が発売される予定はあるのですか？
- 公認セミナーがあれば受講したいのですが、紹介してもらえますか？
 - JSTQBは書籍やセミナーの公認を行っており、JSTQBから書籍の出版、セミナーの開催を行うことはございません。
 - 2010年6月現在では、AIに関する書籍、セミナーの認証申請はございません。

試験時間

- 試験の退出可能時間は？
 - 退出可能時間は60分経過後です。再入場はできません。
- 説明会のときは120分と聞きましたが、この資料には180分と書かれています。なぜ、長くなったのでしょうか？
 - 2010年10月から適用されるISTQB試験規程において、120分から180分に試験時間が変更されました。
 - トライアル試験は8月実施なので、旧規程に則って実施する予定でしたが、本試験の試験時間に合わせて開催することに変更いたしました。

試験形式

- 試験の回答形式は？
 - トライアルではマークシート記述式を予定しています。
 - 筆記用具(鉛筆・消しゴム)を持参してください。

- 四者択一問題ですか？
 - 複数の選択肢から正解を選ぶ形式です。
 - 複数の正解を選ぶ形式の問題もあります。

開催時期

- 本試験の実施時期はいつですか？
 - トライアル試験の結果により、検討いたします。
 - よって時期は未定です。
- テストアナリスト、テクニカルテストアナリストの試験はいつごろ行われますか？
- 各試験の今後のロードマップを教えてください。
 - 来年度以降を予定していますが、時期等に関しては未定です。

開催場所

- 開催場所は東京だけですか？
- 東京以外の地域で開催して欲しいのですがどうすればよいですか？
 - トライアル試験は東京のみの開催です。
 - 本試験に関しては、他の地域でも一定数以上の受験者がいれば開催可能です。
 - 実施パートナーである日本科学技術連盟にご相談ください。

資格種別

- 将来は3つの資格を一度に取得できますか？
 - 現時点では未定です。
- 3つの資格を全て取得したら、特別な称号が得られますか？
 - 「Full Advanced Level Professional:
テスト技術者資格 Advanced Level 完全上級テスト技術者」
の認定が受けられます。

資格種別

- テスタナリストとテクニカルテストアナリストは、何が違いますか？

	テストアナリスト	テクニカルテストアナリスト
視点	ビジネスドメインの要件	技術的な要件
関心事	ユーザの期待	システムの内部構造
評価対象	システム要件	技術的な品質特性
指導	—	技術的なテスト活動

資格の更新

- ALには有効期限や認定維持の要件がありますか？
- AL資格の更新制度はありますか？
 - FL同様に、特にありません。

資格の位置づけ

- 社内で資格の報奨金制度を設けています。AL資格は、情報処理資格試験に例えると、どの難易度になりますか？
 - 他の資格試験との比較は行っておりません。

申し込み方法

- 業務経歴書、合格認定書などはスキャンして送付するのですか？
- 提出方法はe-mailだけですか？
 - スキャンしてPDF形式のファイルを作成し、e-mailでお送りください。
 - PDF化が困難な場合、写しを郵送ください。
 - FAXでの提出は認めておりせん。